

---

# カケラ

源雪風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

カケラ

### 【Nコード】

N7387M

### 【作者名】

源雪風

### 【あらすじ】

僕は、消えてしまおうと思った。

石になって爆弾で粉々になる。

圧力がかからないと、黒鉛はダイヤモンドにはなれない。

僕は圧力をかけられたけど、キラキラ光るダイヤモンドにはなれず、砕けてバラバラになってしまった。

黒鉛が沢山あっても、ダイヤモンドになれるヤツはほんの少しだ。

ダイヤモンドになれると信じて圧力を我慢していた。

だけど、そもそも僕は黒鉛ですらなかった。

だから砕けてしまったんだ。

消えてしまおうと思った。

でも痛いのも苦しいのも嫌だった。

そんな時、石化の薬の存在を知った。

作り方は、捨てられていた本に書いてあった。

半信半疑でやってみることにした。

もうどうにでもなれ。

材料は薬局や理科室で集めた。

石になった僕がこのおぞましい世に残るのは嫌なので、時限爆弾も作った。

石化して痛みの分からなくなった体を、粉々にしてくれることだろう。

決行場所は学校の教室に決めた。

僕に役に立たないことばかり詰め込んだ場所だ。

薬を飲むと、あつという間に体が固まった。

爆弾がはじけ、僕は世界と同化する。

焼け焦げた教室の中に少女が一人、入ってきた。

「あれ、こんな所にコハクのかけらが。きれい。」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7387m/>

---

カケラ

2010年10月28日03時43分発行